

ISO 技術報告書発行の概要

ISO/TR 1281-1:2021 Rolling bearings — Explanatory notes on ISO 281 — Part 1: Basic dynamic load rating and basic rating life

(転がり軸受—ISO 281 の補足説明資料—第 1 部：基本動定格荷重及び基本定格寿命)

2021 年 5 月付にて、ISO/TR 1281-1:2021 (Rolling bearings—Explanatory notes on ISO 281—Part 1: Basic dynamic load rating and basic rating life) が発行されましたので、その概要を紹介します。

1. 経緯

本技術報告書は転がり軸受の動定格荷重及び定格寿命を規定する ISO 281 の補足説明資料であり、動定格荷重や等価荷重係数の導出に関する基礎理論が記載されています。

もとは ISO/TR 8646 という規格番号でしたが、ISO 281:2007 で寿命修正係数 a_{ISO} が規定されたことを機に、動定格荷重及び基本定格寿命を主に記載する ISO/TR 1281-1:2008 と、寿命修正係数を主に記載する ISO/TR 1281-2:2008 に分割されました。

その後、2009 年に、ISO/TR 1281-1:2008 Technical Corrigendum 1 (正誤票) が発行され、簡条 7 の信頼度係数に関する記述が削除されました。

今回が ISO/TR 1281-1 としては、初の改正 (第二版) となります。

2. 主な改正内容

主な追加点、変更点及び修正点を下記に示します。

<主な追加点>

- ① Introduction に、ISO 281:1990 及び ISO 281:2007 の説明を追加
- ② 簡条 3 に “Terms and Definitions” の項目を追加
- ③ 一部の式の係数の出処に関する説明を追加

<主な変更点>

次の軸受の基本定格荷重の計算式の表記を変更

- ① 複列及び多列スラスト玉軸受
- ② 複列及び多列スラストころ軸受

<主な修正点>

- ① ラジアルころ軸受の基本動定格荷重の計算式中の指数の誤記を修正
- ② アンギュラ玉軸受の動等価荷重の算出に用いる係数の計算式中の誤記を修正

以上